

大津高校交通講話

「命の大切さを学ぶ教室」～尊きいのちみつめて～ あいち交通犯罪死ZEROの会代表 佐藤 逸代 氏

犯罪や交通事故の被害者遺族を招いた熊本県警の出前授業「命の大切さを学ぶ教室」が、6月7日（金）に県立大津高等学校で開かれました。交通事故被害者の遺族で、「あいち交通犯罪死ZEROの会」代表の佐藤逸代さんが、「尊きいのちみつめて」という演題で、約1時間の講演をされました。佐藤さんは、平成17年7月17日に、二女有希さん（当時12歳）を、突然の交通事故により亡くされました。夕希さんは、横断歩道で信号待ちをしている時に、信号無視をした車の衝突事故に巻き込まれ車にはねられました。佐藤さんは、事故直前までの幸せな家庭の様子について話をされ、事故当日いつも通りに家を出た娘を突然失った悲しみや、それからの苦しみについて、時々涙で言葉に詰まりながら生徒に語りかけ、交通事故の恐ろしさと命の大切さを高校生に訴えられました。生徒たちは真剣に話を聞き、多くの生徒が涙を流していました。生徒を代表してお礼を述べた生徒会副会長の橘木郁弥君は、「あらためて命の尊さを知ることができました。こうして生きている事への感謝と、事故の怖さを忘れず、これからの人生、1秒を大切に生きていこうと思います。」と話しました。この気持ちを忘れず、大津高校で交通事故ZEROを目指していきたいと思います。

